

2019年度 教育計画

弘前大学医学部附属病院看護部

領域	レベル	研修名	対象	内容	ねらい	開催月
看護実践	Ⅰ	Ⅰ. 基本的な看護技術(1)	卒後1年目看護職員	清潔援助技術(陰部洗浄, おむつ交換, 寝衣交換) 活動休息援助技術(車椅子・ストレッチャー移乗・移送) 症状・生体機能管理技術(バイタルサイン) 感染予防技術(手指衛生, PPE, 針刺し防止, 滅菌物の取り扱い, 無菌操作)	①看護基礎教育での学びをReviewし, ケアの留意点について学ぶ ②職場で早期に体験が予測される技術の手順や留意点について学ぶ	4月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(2)		症状・生体機能管理技術(真空採血法, 血糖測定) 与薬の技術(輸液法) 安全確保技術(確認行為, 誤薬防止)		4月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(3)		症状・生体機能管理技術(症状の観察と報告・連絡・相談)与薬の技術(薬の基礎知識) 症状・生体機能管理技術(検体の取り扱い)	夜勤に向けて必要な基本的技術・知識・態度や業務について学ぶ	4月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(4)		呼吸・循環を整える技術(酸素吸入と吸引)		5月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(5)		与薬の技術(輸液・シリンジポンプ)	日常業務に必要な基本的技術・知識・態度について学ぶ	6月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(6)		排泄援助技術(膀胱留置カテーテル) 創傷処置技術(褥瘡予防, ドレッシング材の使用法)		6月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(7)		食事援助技術(経腸栄養法) 排泄援助技術(浣腸)		7月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(8)		創傷処置技術(ドレーン管理) 死後のケア 与薬の技術(輸血の知識) メンタルヘルス	急性期看護に必要な技術・知識・態度について学ぶ	7月
		Ⅰ. 基本的な看護技術(9)		呼吸循環を整える技術(呼吸生理, パルスオキシメーター, 酸素療法) 救命救急処置(意識レベル, BLS, 気管挿管の介助) 症状・生体機能管理技術(心電図およびモニタリング)		10月
	Ⅱ	Ⅱ. 診療の補助業務技術(1)	卒後2年目看護職員及び看護部職員	呼吸循環管理, 症状管理, 感染防止, 安全確保	検査についての知識と診療補助業務のスキルを磨く	7月
		Ⅱ. 診療の補助業務技術(2)		与薬技術, 感染防止, 安全確保	①静脈注射に関する知識と技術を学ぶ ②薬剤の基礎知識を高め, 安全な与薬業務や患者指導ができる	6月
	Ⅱ Ⅲ Ⅲ	Ⅱ. 看護実践の技術	卒後2年目看護職員及び看護職員	看護形態機能学を活用したヘルスアセスメントと看護介入	日常生活行動の視点からヘルスアセスメントを学び, 早期回復に向けた看護援助・支援方法を実施できる能力を養う	8月・1月
	Ⅰ Ⅲ Ⅳ		看護部職員	フィジカルアセスメント	現場で活用できるフィジカルアセスメントのコツを学ぶ	8月・9月・10月・11月
	Ⅱ Ⅲ Ⅳ	看護実践の技術	看護部職員	褥瘡予防の知識, 褥瘡予防ケア	①褥瘡発生のメカニズムを学び予防ケアの重要性を理解する。 ②健康な皮膚を保持し褥瘡発生を予防する技術を学ぶ。	調整中
	Ⅲ	がん看護実践者育成	指導的立場を担える人	がん看護:基礎編/ステップアップ編	根拠に基づいてがん看護を実践し, 役割モデルとなる	5月～2月 11回
	Ⅱ Ⅲ Ⅳ	看護実践の技術	看護部職員	認知症看護:患者理解編/看護編	行動・心理症状(BPSD)を理解し, 適切な援助を学ぶ	調整中
	Ⅰ	看護過程(1)	卒後1年目看護職員	Ⅰ. 情報収集とデータベース Ⅱ. 記録の実際と評価	情報収集からデータベース作成の過程を学ぶ 自己監査し, 不十分な部分を明らかにする	5月 12月
		看護過程(2)	卒後2年目看護職員 既卒および中途採用看護職員	事例検討 事例検討	事例を通して看護過程を検証する	11月
	Ⅱ	看護過程(3)	卒後3年目看護職員及び看護部職員	クリティカルシンキングと看護診断	アセスメント能力を高め, 適切な看護診断を導く	6月
	Ⅱ Ⅲ Ⅲ	看護過程(4)	看護部職員	事例検討	事例を通して適切な看護診断を導く方法を学ぶ	7月・10月・1月
	Ⅰ	プリセプティ研修	卒後1年目看護職員	事例紹介と課題の明確化	自分の看護を振り返り, 次年度の課題を見いだせる	2月
自己育成	Ⅲ	自己育成研修	看護部職員	Ⅰ. コミュニケーションスキル	専門職としてアサーティブコミュニケーションを身につける	9月
	Ⅱ Ⅲ Ⅳ			Ⅱ. コミュニケーションスキル(英語)	コミュニケーションスキルを英語を通して学ぶ	5月～2月 20回
	Ⅱ Ⅲ Ⅳ			Ⅲ. 文章作成スキルアップ	①正しく伝える力を身につける ②事実を適切な文章で表現できる力を身につける	12月
	Ⅰ	看護倫理	新採用者	マナーup ホスピタリティ	看護サービス提供者として接遇マナーを学ぶ	4月
	Ⅰ		新採用者	看護者の倫理綱領	看護専門職者としての行動指針と責任の範囲について理解する	4月
	Ⅱ		卒後2年目看護職員	看護倫理Ⅰ	提供している看護を倫理という側面で振り返り, 倫理的感受性を高める	10月
	Ⅲ Ⅲ Ⅳ		看護部職員(倫理Ⅰ終了者) 看護部職員(H30年度までに倫理Ⅱを受講した者)	看護倫理Ⅱ 看護倫理Ⅱフォローアップ	倫理的問題を明確にするための分析方法を学ぶ 倫理的問題を明確にし, 看護実践を再考できる	8月 2月
教育	Ⅲ	教育方法	卒後4～5年目看護職員および希望者	コーチング	学習意欲・就業意欲や主体性を高めるポジティブフィードバックの手段を習得できる	9月
	Ⅱ Ⅲ Ⅲ	指導者研修	指導者の任を担う予定のある職員	看護基礎教育の現状, 教育方法, 指導方法の実際他	看護部の指導者として必要な知識等を学ぶ	3月 2回
	Ⅲ	実地指導者研修	プリセプターの任にある者	新人教育, 指導方法の実際, メンタルサポート技術	新人指導の実際について考える	4月・6月・10月
	Ⅲ	臨床指導者研修	実習指導コンサルティングナース	実習指導者のあり方・指導方法	効果的な実習指導を調整・展開できる方策を考える	5月
研究	Ⅱ	看護研究(1)	卒後3年目看護職員	EBNリサーチ報告会	提供している看護のエビデンスを検索する	7月・12月
	Ⅱ	看護研究(2)	看護部職員	研究テーマの絞り込み、研究計画書の作り方	日常業務における研究課題を明らかにし、研究計画書の作成を学ぶ	11月
	Ⅲ～Ⅳ	看護研究(3)	研究課題を持っている看護職員	看護研究方法論	実践課題の解決につながる様々な研究方法を学ぶ	11月
管理	Ⅰ	新採用者オリエンテーション	新採用者及び前年度中途採用者	大学病院の使命, 組織人としての心得, 病院・看護部の運営	①病院の概要を知り, 職業人としての自覚を持つ ②看護師の職務及び看護部の組織活動について理解を深める	4月
		安全管理	新採用者及び前年度中途採用者	Ⅰ. リスクマネジメント Ⅱ. 感染予防	安全な医療を提供するためにリスクマネジメントの概念を学ぶ 感染予防の正しい知識について学ぶ	
			経験5年以上看護職員	Ⅲ. 災害時の対応 災害支援ナース育成研修	災害時の対応と避難誘導の心得を学ぶ 災害医療と看護の基礎知識を習得する	7月 12月
		情報管理	新採用者及び前年度中途採用者	医療情報システムと情報セキュリティ	医療情報の取り扱い等について学ぶ	4月
		業務管理	卒後1年目看護職員	看護業務 入院時の業務	日勤や夜勤業務の流れや事務手続き等の業務を理解する 入院時の業務について理解する	4月 5月
				業務の組み立て方	優先度を考えた業務の組み立てや調整方法について考える	7月
				薬剤管理	適切な薬剤管理の基本を学ぶ	4月
		看護必要度	新採用者及び希望者	看護必要度の概念と導入目的について 看護必要度評価票の構成について	患者の重症度・看護必要度について適切な評価が行えるよう, その評価方法を習得する。	10月
	Ⅲ	管理者研修(1)	新任看護師長・副看護師長	病院・看護部の運営他各部門の責任者として必要な知識	病院・看護部の運営に関する理解を深め, 各看護単位の責任者としてその運営を推進する能力を高める	5月
		管理者研修(1)フォローアップ	新任看護師長 新任副看護師長	事例検討	経験した事例を通し, 問題解決能力を高め, 看護管理実践に役立てる	1月
	Ⅳ	管理者研修(2)	看護師長・副看護師長			

レベル; Ⅰ:新人 Ⅱ:一人前 Ⅲ:中堅以上 Ⅳ:管理者